

稲光会報

第42巻 63号

令和2年 3月10日発行
編集 早稲田大学稲光会
発行人 内田陽子
題字 滝口 宏

http://wasedafencing.com

男子エペ・女子フルール 全日本選手権準優勝



全日本準優勝の男子エペ・女子フルール団体。左から内田監督、田中コーチ、金高(1年)、安(4年)、加納(4年)、増田(2年)、真所コーチ、狩野(1年)、遠藤(3年)、溝口(3年)、千葉(3年)

部員たちは、今年度も9月から強化練習に入りました。そして9日には千葉県山武市での合宿入りを予定していましたが、宿泊所が台風15号に被災したため残念ながら中止せざるを得ませんでした。それでも全員めげることなく練習に励み、全日本個人、関カレ、インカレ、早慶戦、そして全日本団体、等で熱戦を

指します。また安雅人も、最終学年を関カレ優勝で飾りました。女子フルール団体は、関カレ、インカレとも3位に甘んじましたが、全日本では日体大に次ぐ準優勝でした。全く同じメンバーで来年度も戦いますので、必ずや雪辱を果たします。また個人では3年生の溝口礼菜が、関カレ、インカレ共に準優勝です。

関カレは、決勝を怪我で棄権しての準優勝でしたが、それも実力の内と気を取り直し来年度は優勝を狙います。男子サーブル団体も結果を残しました。全日本でベスト8に入り、関カレ3位、そしてインカレでは実に創部以来初となる準優勝に輝きました。シंगाポール・ナショナルチームのNGジェットが秋の入学で加わった男子フルール団体は、関カレ5位、インカレ6位、全日本ベスト8の成績を残しました。女子エペ団体は、関カレ、インカレ共に3位に入りましたが、全日本では1回戦敗退という屈辱を味わいました。しかし女子フルール同様に同じメンバーで来年度に臨みますから、抜群のチームワークで来年度は復活を



創部初の快挙！インカレ準優勝の男子サーブル団体

成し遂げます。そして女子サーブル団体は、来年度のメンバーが2名しか目処が立っておらず、勧誘を含め対策中です。なお早慶戦は、優勝したものの苦戦しました。慶応は付属高校に外部コーチを招いて底上げを進めており、既に脅威になりつつあります。我々も植村トレーナーの指導のもと、全国の高校から集まった部員たちの基礎体力強化を図り、フェンシングで負けない勝てる体づくりを進めてまいります。総じて部員たちは、今年度も輝かしい戦績を残してきました。稲光会の先輩方におかれましては、我が事として誇っていただき、来年度も更なるご支援をお願い申し上げます。(監督・内田敏朗)



早稲田大学フェンシング部専任トレーナー

植村 晃匡

うえむら・てるまさ。日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、鍼灸按摩マッサージ指圧の資格を保持。プロバスケットボール、JFLサッカー、大学アメリカンフットボールで指導。現在は1部所属の社会人アメリカンフットボールチーム、大学陸上競技部短距離ブロックのトレーナーとして治療院でも活動中。2018年より早稲田大学フェンシング部のトレーナー。

トップアスリートの 体づくりと怪我予防

昨年からトレーナーとしてチームに関わらせていただいております。植村と申します。歴史と伝統のある早稲田大学フェンシング部の一員となることができ、大変光栄に思っていると同時に、とても大きな責任とプレッシャーを感じておりますが、まずは昨年1年間を大きな事故もなく終えることができたことに安心しております。

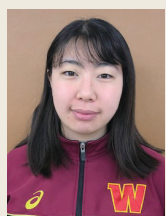
オーミングアップやクールダウンの指導といったメディカ的なサポートに加え、パフォーマンス向上のためのトレーニングに関する指導も行っております(本来はトレーニング指導のスペシャリストのストレングスコーチがこちらを担うことが多い)。

や、栄養不足が原因のこともあります。昨年も、ある選手が貧血のような症状で悩んでおり、色々と話を聞くと炭水化物や水分の不足が原因と考えられ、食事のアドバイスを通し症状が気にならなくなったと報告を受けました。

また私は医療資格も保持していることから、治療的なアプローチを行わせていただくこともありますが、これらはただストレッチやマッサージを行うだけでなく、違和感や痛みがどのような原因から来ているのかを正確に判断し、その原因を治すために選手にエクササイズ等も行う必要があります。そして、良いパフォーマンスを発揮するためには私生活に関することも重要になってきます。疲れが取れないことが、睡眠不足

2019年を振り返りますと、まずはウォーミングアップやクールダウンまで1日の練習の流れとトレーニング内容の提案を行いました。今まで当たり前と思っやっていたことやルーティンとなっていたこともあったと思いますが、中でも私が説明させていただいたものをまっすぐにやり通してくれたことに大きな感謝をしています。

植村トレーナーに入っていたから、フェンシングに必要な下半身の強化や使えていない細かい筋肉を鍛えるといったフィジカルトレーニングを重ねたことにより、下半身が安定し、対戦中の身体のブレがなくなりました。このトレーニングを活かし、試合で好成績を残せるように頑張りたいと思います。



千葉(3年)

し、大一番の前に怪我を抱えていた選手がいたことも事実です。ので、今後もより良いコンディショニングを保つために活動していくことが課題です。フェンシングにはこの機会をいただくまでは関わったことが多く、コーチや選手から色々と意見をもらい、私の考えと擦り合わせながらチーム一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

私が選手と触れ合える機会ほんのわずかな時間ですので、選手一人ひとりが自分の身体の状況に応じてどうしていったらいいのかを考えられるようになっていくこと、そして方が一の時、は気軽に相談してもらえよう存在であれたらと思います。アスリートとして心技体を高めていき、4年という限られた時間の中で輝いてもらえるように私ができることを頑張っていこうと思えます。



村上(3年)

植村トレーナーにはウォーミングアップやクールダウン、体のケアなど様々な面でサポートいただいております。体に違和感を感じたときは植村トレーナーにみていただき、痛みの原因やケア、改善の方法などを教わっています。このようなサポートのおかげで、怪我人が減ったり、フェンシングの動きがよくなったりと様々な効果がありました。植村トレーナーのサポートは私たちのパフォーマンス向上の力となっています。

春季合宿のご案内

2020年 3月13日(金)~20日(金)

※中日3月16日(月)

ニュー福寿荘

〒401-0502
山梨県南郡留都山中湖村平野140
☎0555-65-8301

現役への差し入れをお待ちしております!
栄養補助食品(ゼリー、飲料、果物)等
※ドーピング対象となり得るエナジードリンク除く

先輩方のご参加を
お待ちしております



今回も大爆笑のオークション大会



ビンゴの景品で宝くじ!?
(後日、まさかの当選!!)

欠席された先輩からの
メッセージボード
漆間先輩(S33)より
乾杯のご发声

試合の最新情報はこちらから!

●早稲田大学フェンシング部公式Facebook

<https://www.facebook.com/wasedafencing/>

●早稲田スポーツ新聞会「フェンシング部」

<http://wasedasports.com/club/fencing/>



全日本
ベテラン
選手権
優勝!

片島先輩、滝口杯も受賞!

令和元年11月16日、17日に神戸市立体育館で開催された第20回全日本ベテランフェンサーズ選手権兼第35回滝口杯争奪東京都ベテランフェンサーズ大会において、平成9年卒の片島章徳先輩が男子エベ40代の部で見事優勝、種目別の最優秀選手に贈られる滝口杯も授与されました。滝口杯は我が部の初代部長滝口先生の名を冠した大会で、杯は稲光会から寄贈、今年は全国から145名が参加しました。平成最後(平成30年)の大会では出水宏和先輩(H11)が同じエベで優勝、令和になって片島先輩が優勝と、稲光会メンバーが2年連続優勝です。さぞ滝口先生も喜ばれていることと思います。



上段左から/内田陽(H13)、木村(4年)、佐野(4年)、中島(2年)、高原(2年)、田中秀(H9)、山根(H28)、武山(令和元)、片島(H9)、黒田(S39)、木田幹事長(S54)、春日(S58)、原田(S56)、杉本(S54)、内田監督(S57)、寺田(S60)、登尾(3年)、遠藤(3年)、影山(1年) 中段/齋藤(4年)、安(4年)、高木(4年)、富山(S57)、武市(S56)、野田(S55)、宮(S53)、赤井(S51)、西澤(S41)、植竹会長(S39)、矢野(S34)、北原名誉会長(S36)、慶田(S38)、酒井(S35)、漆間(S33)、丹羽(S45)、北原勝(S41)、小林(S46)、多河(S46) 下段/増田(2年)、十河(4年)、小山(3年)、川村(1年)、澤浦(4年)、中埜(4年)、加納(4年)、狩野(1年)、黒田(1年)、村上(2年)、駒場(3年)、仙葉(3年)、千葉(3年)、村上夏(3年)、金高(1年)、森多(1年)、寺井(1年)



混成試合に挑む
先輩方
平野副会長(S52)
より開会宣言

関東学連OB会 ゴルフコンペ

慶田先輩が優勝

令和元年11月21日、第26回関東学連フェンシング連盟OB会ゴルフコンペが千葉県野田市の紫あやめ36CCで開催され、12大学42名が参加しました。稲光会からは伊藤茂秀(S33)、慶田浩一(S38)、植竹清(S39)の3人の先輩が出場。個人戦では手の怪我が癒えた慶田先輩がシニアの部で見事初優勝、団体戦には平均年齢80歳という最高齢で4位となりました。他校は、若手が多数参加しています。稲光会だけが取り残された感じですので若手の積極的な参加をお願いします。(お問合せは植竹先輩まで。連絡先は稲光会名簿にてご確認ください。)

橋本純樹先輩 昭和41年卒
令和2年1月12日ご逝去享年76
最期はパーキンソン病でほとんど動けませんでした。亡くなる時まで「早稲田!! フェンシング!!」と言ひ、プリントアウトしたフェンシング部のHPを食い入るように見つめていたとのこと。フェンシング部では、エベを中心に習得し、1964年のインカレエベ団体では、法政大学を破り優勝しました。マネージャーとしても、辣腕を奮いました。
(同期・西澤先輩より)



おくり文

OB 現役
山根 輝 3-V5川村
武山 輝 3-V5森多
田中 輝 15-3寺井

北海道から駆けつけた武市先輩(S56)



杉本先輩(S54)よりご挨拶



「早慶戦全記録」(啓文社書房刊)のフェンシング部・早慶戦記録に熱い想いを馳せる先輩方

今年度の稲光会の日は、10月27日(日)フェンシング教場で現役部員と29名の会員計60名余が参加し盛大に行われました。平野副会長の開会宣言で始まり、故吉本真司先輩(S40)、故北嶋栄先輩(S46)への黙祷、内田新監督より秋季展望、現役部員と若手会員の混成試合、近藤征一郎先輩、新井時男先輩、谷岡慶一先輩(共にS37)の傘寿祝いの報告、懇親パーティーでは、久しい先輩方の近況報告、そして最後は恒例のビンゴ、オークション大会で大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。

稲光会の日

2019年後期の戦績

関東学生連盟新人戦大会 (9/11 駒沢オリンピック公園総合体育館)

川村京太(スポ1年) 男子フルーレ個人 準優勝
狩野央梨沙(スポ1年) 女子フルーレ個人 優勝
黒田ほのか(スポ1年) 女子サーブル個人 準優勝

第1回 牧杯ジュニアフェンシング選手権大会 フルーレ・サーブル大会

兼 2020年世界ジュニア・カデフェンシング選手権大会選考会
(9/14~16 京都・大山崎町体育館)

森 多諒(社1年) 男子サーブル個人 第3位
黒田ほのか(スポ1年) 女子サーブル個人 準優勝

関東学生フェンシング選手権大会(関カレ)

(10/15~24 駒沢オリンピック公園総合体育館)

男子団体

フルーレ 2回戦 VS 日本大学 ●28-45 第5位
エベ 決勝 VS 中央大学 ○45-41 優勝
サーブル 3位決定戦 VS 中央大学 ○45-43 第3位

女子団体

フルーレ 3位決定戦 VS 専修大学 ○45-23 第3位
エベ 3位決定戦 VS 日本体育大学 ○45-40 準優勝
サーブル 2回戦 VS 法政大学 ●37-45 第6位

男子個人

安 雅人(スポ4年) エベ 優勝/
増田陽人(商2年) エベ 準優勝



女子個人

溝口礼菜(スポ3年) フルーレ 準優勝
駒場みなみ(スポ3年) エベ 準優勝

全日本学生フェンシング選手権大会(インカレ)

(11/11-15 駒沢オリンピック公園総合体育館)

男子団体

フルーレ 2回戦 VS 法政大学 ●44-45 第6位
エベ 3位決定戦 VS 専修大学 ○45-40 第3位
サーブル 決勝 VS 中央大学 ●33-45 準優勝

女子団体

フルーレ 3位決定戦 VS 日本大学 ○36-27 第3位
エベ 3位決定戦 VS 関西学院大学 ○41-40 第3位
サーブル 2回戦 VS 東京女子体育大学 ●21-45 第10位

男子個人

金高大乗(社1年) エベ 優勝



女子個人

溝口礼菜(スポ3年) フルーレ 準優勝

第72回 早慶定期戦大会 (11/23 慶應義塾大学日吉会堂)

総合優勝

男子団体
フルーレ ●43-45
エベ ○45-40
サーブル ●43-45
女子団体
フルーレ ○45-13
エベ ○45-32
サーブル ○45-14



第72回 全日本選手権大会

(12/20-22 鹿児島・垂水運動公園中央体育館・垂水文化会館)

男子団体

フルーレ 3回戦 VS 日本大学 ●37-45 ベスト8
エベ 決勝 VS 自衛隊体育学校 ●35-45 準優勝
サーブル 2回戦 VS 日本大学 ●37-45 ベスト8

女子団体

フルーレ 決勝 VS 日本体育大学 ●35-45 準優勝
エベ 1回戦 VS 岐阜クラブ ●36-45 ベスト16

※個人成績は3位以上

★=写真提供=早稲田スポーツ